夕刊
一月二十一日發行
定價一部金五錢（郵稅別）
（日曜祭日翌日休刊）
磐城新聞社
磐城郡平町南町（ライフワイヤ公社前）
電話四五六四番
振替口座仙臺一〇九八番
廣告料金一行一回金六拾錢
五回以上一回ニ付金五拾錢
（公共機關ハ一割引）
特別廣告ハ交渉ノ上
廣告料金ハ前金ノ事
廣告ハ本社ニ於テ取扱フ
發行所
磐城新聞社
代表者 木村一郎
（第三種郵便物認可）
昭和八年一月二十二日 磐城新聞 〔日曜日〕 第三千六百三十一號 （一）

陽春の滿蒙に活躍する 地質學者木村六郎氏

山口彌一郎

急に炭層、化石、斷層等と目前に展開する大自然の妙に惹き込まれずには居られなかつた。先づ關伽井嶽南北滿を一巡して大連に着き一日地質調査所に木村氏を訪ねた。親しく引見されて、殊に撫順炭田等に關してお聞きした。話が大利の地に亙り調査の事に觸れると郷里を一入思ひ出された様に調査當時の模様を話された。

地質調査所の技師として磐城に調査に來られ、人夫と共に關伽井嶽の麓を歩いて居られると偶々氣分が輕くなつて磐城の盆歌が何かを口吟さまれたさうだ。人夫が不思議に思つて尋ねも磐城の者だよ』と言つて大笑ひされた事があつたさうだ。

氏が現在如何に學界に又何だか顔を見られるやうな冷笑はれる様な、よくして居らるると喚かれる様な氣もずて狹くなつて肩身のすくむ思ひに閉ざされた、そうして一方には龍馬が近々に歸藩すると云ふことを聞いてゐるので染々便りなくも悲しくも感じた、吾人夫が不思議に思つて尋ねも磐城の者だよ』と言つて大笑ひされた事があつたさうだ。

氏が現在如何に學界に又何だか顔を見られるやうな冷笑はれる様な、よくして居らるると喚かれる様な氣もずて狹くなつて肩身のすくむ思ひに閉ざされた、そうして一方には龍馬が近々に歸藩すると云ふことを聞いてゐるので染々便りなくも悲しくも感じた、吾人夫が不思議に思つて尋ねも磐城の者だよ』と言つて大笑ひされた事があつたさうだ。

氏が現在如何に學界に又

慌だしい歲末を送つた國際聯盟がまた舞臺を廻して活躍を始めた。然しいくら小國側が氣上で論じて居ても早や二度を迎へて健やかに成長してゐる滿洲國存在の事實は如何ともする事が出來ないであらう。

◇

我々はリットン報告書がどうであれ、ヂュネーブの會議がどんな變轉を經ようと既に決心は着いてゐる様な氣がする。我々は最早やる一歩突き進んで滿蒙そのものに果して我々の期待したものが得られたか、得られさうだかを見極めなくてはならないであらう。

國防の見地よりの問題はしばらく置くも、人口過剩の日本が殖民は果して可能であらうか。食料品の供給は充分仰げるだらうか、何時迄も落着かないからと放つて置く譯にもゆくまい。

この時警へ一時は撫順炭輸入問題が擡頭したにせよ鑛物方面の資源は何んとなく頼れる様に思へる、滿蒙に最も缺けると言はれる金屬鑛床も大谷氏のラヂオ放送等を聞くにつけ心強くするものがある、此の鑛物資源の調査を一手に引き受けてゐる南滿洲鐵道株式會社の地質調査所長に我等の鄕土磐城が生んだ地質學者木村六郎氏が座してゐるとは又何んと意を強くする所ではあるまいか。

◇

私が木村六郎氏の名を知つたのは磐城に來て大正十四年であつた、全く地質に素人である私も磐城に來て出發したのであつた。

北滿を一巡して大連に着き一日地質調査所に木村氏を訪ねた。親しく引見されて、殊に撫順炭田等に關してお聞きした。話が大利の地に亙り調査の事に觸れると郷里を一入思ひ出された様に調査當時の模様を話された。

地質調査所の技師として磐城に調査に來られ、人夫と共に關伽井嶽の麓を歩いて居られると偶々氣分が輕くなつて磐城の盆歌が何かを口吟さまれたさうだ。人夫が不思議に思つて尋ねも磐城の者だよ』と言つて大笑ひされた事があつたさうだ。

氏が現在如何に學界に又

◇

慌だしい歲末を送つた國際聯盟がまた舞臺を廻して活躍を始めた。然しいくら小國側が氣上で論じて居ても早や二度を迎へて健やかに成長してゐる滿洲國存在の事實は如何ともする事が出來ないであらう。

◇

我々はリットン報告書がどうであれ、ヂュネーブの會議がどんな變轉を經ようと既に決心は着いてゐる様な氣がする。我々は最早やる一歩突き進んで滿蒙そのものに果して我々の期待したものが得られたか、得られさうだかを見極めなくてはならないであらう。

國防の見地よりの問題はしばらく置くも、人口過剩の日本が殖民は果して可能であらうか。食料品の供給は充分仰げるだらうか、何時迄も落着かないからと放つて置く譯にもゆくまい。

この時警へ一時は撫順炭輸入問題が擡頭したにせよ鑛物方面の資源は何んとなく頼れる様に思へる、滿蒙に最も缺けると言はれる金屬鑛床も大谷氏のラヂオ放送等を聞くにつけ心強くするものがある、此の鑛物資源の調査を一手に引き受けてゐる南滿洲鐵道株式會社の地質調査所長に我等の鄕土磐城が生んだ地質學者木村六郎氏が座してゐるとは又何んと意を強くする所ではあるまいか。

◇

私が木村六郎氏の名を知つたのは磐城に來て大正十四年であつた、全く地質に素人である私も磐城に來て出發したのであつた。

拈華微笑

◇ 減つて嬉しい借金と貯炭

◇ 鈴木榮老が小名濱町長になつた

◇ 今年丁度適齡年に生れた子供

◇ 丹野せつの下獄

◇ 椙木問題前町長の表彰。事の繁き町ではある

◇ 會長爭奪の禍根

◇ 藝者三本の玉代も使ひやうでは

◇ 舊正の貧家を賑はす餅代となる

◇ 相場はきまつとをる。

◇ 人間の身体は機器でないから不幸である……人間のくさつたからだは死ななければ癒らんと

◇ 北滿を一巡して大連に着き一日地質調査所に木村氏を訪ねた。親しく引見されて、殊に撫順炭田等に關してお聞きした。話が大利の地に亙り調査の事に觸れると郷里を一入思ひ出された様に調査當時の模様を話された。

地質調査所の技師として磐城に調査に來られ、人夫と共に關伽井嶽の麓を歩いて居られると偶々氣分が輕くなつて磐城の盆歌が何かを口吟さまれたさうだ。人夫が不思議に思つて尋ねも磐城の者だよ』と言つて大笑ひされた事があつたさうだ。

氏が現在如何に學界に又

◇

慌だしい歲末を送つた國際聯盟がまた舞臺を廻して活躍を始めた。然しいくら小國側が氣上で論じて居ても早や二度を迎へて健やかに成長してゐる滿洲國存在の事實は如何ともする事が出來ないであらう。

◇

我々はリットン報告書がどうであれ、ヂュネーブの會議がどんな變轉を經ようと既に決心は着いてゐる様な氣がする。我々は最早やる一歩突き進んで滿蒙そのものに果して我々の期待したものが得られたか、得られさうだかを見極めなくてはならないであらう。

國防の見地よりの問題はしばらく置くも、人口過剩の日本が殖民は果して可能であらうか。食料品の供給は充分仰げるだらうか、何時迄も落着かないからと放つて置く譯にもゆくまい。

この時警へ一時は撫順炭輸入問題が擡頭したにせよ鑛物方面の資源は何んとなく頼れる様に思へる、滿蒙に最も缺けると言はれる金屬鑛床も大谷氏のラヂオ放送等を聞くにつけ心強くするものがある、此の鑛物資源の調査を一手に引き受けてゐる南滿洲鐵道株式會社の地質調査所長に我等の鄕土磐城が生んだ地質學者木村六郎氏が座してゐるとは又何んと意を強くする所ではあるまいか。

◇

私が木村六郎氏の名を知つたのは磐城に來て大正十四年であつた、全く地質に素人である私も磐城に來て出發したのであつた。

◇ 丹野せつの下獄

◇ 椙木問題前町長の表彰。事の繁き町ではある

◇ 會長爭奪の禍根

◇ 藝者三本の玉代も使ひやうでは

◇ 舊正の貧家を賑はす餅代となる

◇ 相場はきまつとをる。

◇ 人間の身体は機器でないから不幸である……人間のくさつたからだは死ななければ癒らんと

哀歌抄

小松崎芳子

○立ち塞ぐ君をたはむれと思ひしに涙を湛ふその瞳はや

○おくれ毛を口にふみしは綸にあらじまなに寂しき君のすがたよ

○河舟の舵のきしみの悲しさよはらはらと散る夜櫻のかげ

○迫れば思ひ悲しくきはまりて寢返りはしつれすべなきかなや

○迷信とな言ひそ君を思へば朝の蜘蛛は神に捧ぐるなり

講談 お蘭陀お蝶

渡邊默禪作

(232)

布施長春畫

素足なので雜巾を借りて拭いてから、からげた裾を落としてはつれた髮を撫で上げ、衣紋を繕ろつて座に着いた、着きはしたものゝ胸は躍り、頭は重く、何にも云はぬ先から涙が出る

『一体如何したと云ふのぢや、かゝる眞夜中に館を拔け出して身共の住居を訪ねる程ぢやから定めし容易ならん仔細のあつてのことは思ふが一應それを話して見い、仕誼に依つては如何樣にもそなたの身が立つ樣に計らつてやる、如何いたした』

龍馬は優しく訊ねた

『はい、私、あの……あなたさまにな ア……』

とお蝶は、はなを啜り上げて

『お、お、お暇乞に參じました』

と頼れる樣に顔を伏せた

『え、暇乞に？』

と龍馬は意外に思つて

『では館から暇が出たのかかぬ、又一方には此の事がな、宗哲に梅が枝の兩人だ薄々朋輩にも知られてゐるさながら禪僧の如くに悄然と瞑目沈思してゐられる、訝しいところがある判斷にお蝶はそれを見て一途に氣苦しむ點がないでもない。毒になつた、假令後暗ひことがあつたにもせよ、永や狹い女の心ならそう思ひ年出入もし、奉公もした叔詰めるも無理はないが死ぬ父姪二人をしくじらせ、其のに館を逐電しなければならないと云ふのは少々合點が參らんのう、死のうと思へば何所でも死ねる、何もら泣いて出た飛ちうである態々身どものところへ押し罪障が深い、人樣に對してがけて來なくとも濟みそうなものだ、淵川、木の枝、刃物は到る所にあるがの』

龍馬は驚いたが併し些面目がない、若樣が諦めてあるが諦めたから良いと云つて此の傷はしい有樣を知らぬ振りで見てゐられない譯はいかぬ、それが辛いと言つて今更お詫のしようもない、慮めて上げる工夫も付を行ふ

△指示事項—林野火災警防、竹林保護 △注意事項—林野火災信號、林

社會の今日

○

△英詩星バイロン牛22日(一、七八八)△金I一穀の献進を停む（明治五）△總選擧期日公布ねば聲一つかけるでもないだと、そんな意味を語つた二月二十日(昭和七)

磐城炭田として早くより地質學的調査が進められ、本邦地質學界の元老小藤文次郎博士が阿武隈の古期岩石の研究に手を初められて後、京大の中村新太郎教授、早大の德永重康博士、東大の坪井誠太郎博士、山根新次教授、渡邊久吉技師等地の學者、岩石學者の

林野保護組合總會

本署管内林野保護組合聯合會は二十八日午前九時から同署會議室で開催、左記事項協議後優良組合員の表彰を行ふ

△指示事項—林野火災警防、竹林保護 △注意事

ラヂオ

…二十二日(日曜)…

仙臺 JOHK

△前九、〇〇A 氣象

△九、一〇 榮養料理（辨當…三、豚肉ボール）榮養研究所

△九、三〇（子供の時間）管絃樂…合唱付 豊島交響樂團

△一〇、〇〇N 運動競技（第六回全日本學生スキー競技大會狀況）

△一一、〇〇AB 二元放送 東西高段者碁手合

△正午 A 時報 氣象

△後〇、三〇 ニュース

△〇、五〇H 琵琶（大壇口）二本松町…佐藤錦報

△一一、二〇 放送舞台劇（假名手本忠臣藏…五段目大段目）中村福助 外

△二、五〇B 清元（道行浮塵島…お染）清元延葉、同滿榮 同延榮

△三、四〇 氣象

△四、〇〇A ニュース

△四、二〇A 大相撲春場所狀況 國技館より中繼

△六、〇〇A（子供の時間）お琴

△六、三〇H 講演（社會事業を通じて）歐洲軍日本本營調査課長山室民子

△七、〇〇A ニュース 氣象 積雪量

△七、三〇 人情噺（おかめ團子）柳亭燕三郎

△八、〇〇A 常磐津（今樣夜討曾我）常磐津和佐彌生 和喜

△八、三〇A 掛吟

△八、五〇A 遠藤浪花節（南山血染の騎隊旗）東家燕

△九、三〇A 時報 ニュース 氣象

專門

平町南町（元眞木辯護士跡）

耳鼻咽喉科醫院

增田

電話 四八二番

（入院隨意）

鼻、耳、食道科、咽喉科、

破魔弓と羽子板を陳列致しました！
御子さまの御祝から
三十二年の不景氣を破り？
三十三年の景氣を羽根上る？
○是非御子様の御祝盛んに致しませう。
スガノヤ提灯店
平町四丁目 電話九五番

眞品廉賣に勝る
商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は火の生命なり
入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話 一二九）

香味本位の本場錦茶を召上りませ……
電三九六番
平三丁目
大勝園

福山靴店のドク〳〵（ビックリ）
大投賣り出し
舊正月二、三日の當日は大景品を差上げから是非御早く御出下さい。
先着三十名に限り金壹圓五拾錢以上御買上の方には景品の外御婦人用革製手提袋を差上げます。どうぞ御早く〳〵。
自製 革靴 金五圓より
旅行用トランク革鞄 金參圓より
小學生皮ランドセル 金壹圓より
平町田町大通り役場隣
高級ゴム靴各種
福山靴鞄店

屋根材の大王（日の出）便利瓦
太陽印
耐久力優二十ヶ年以上
壹坪 昔上 八十錢 內外
日本建築紙工株式會社
磐城代理店
銘木 ニヤ板 天井板 屋根板
內外木材
精實勉强御用命を願ひ上ます。
未織田材木商店
平町字紺屋町四〇
電話 四六〇番

昨今の貯炭激減から 限産緩和問題持ち上る

前年同期の三大炭鑛合計五萬噸が 最近では僅に二萬噸足らず

冬期需要期となつてからの石炭界は季節的需要増大の外インフレ景氣による重工業界の好調と海陸運界の活況、更に滿洲事件による撫順炭の輸入著減する事の原因が輻輳して稀有の好調を呈するに至つた、即ち郡下三大炭礦の貯炭減少振りに就て觀るも去る十日現在で磐城六、五五八噸、入山八、五六五　古河二、一八〇　合計一七、三〇三噸で前旬十二月三十一日現在一九、三五七噸に比し僅々十日間に二、〇五四噸を減じ更に前月同期現在と較べると實といふ理由で生産制限緩和に一萬噸の激減であり、前年同期からの減り方は三萬合理事會に提案、協議に噸に達し、莫大な數字を示しされる模様であるが需要増加の因果關係に就て些か之も、而も以上の貯炭激減は單うここ許りで無く他と見解を異にしてゐる向も全國各地方も同様の狀態であるのでるが二十七日の理事會あるが實くて一月末に於けは相當成り行きを刮目される全國貯炭高は未曾有の減てゐる

養蠶家抱き込みに 各製糸家の狂奔

大量出荷に奨勵金交附

昨年蠶以來高値を持續して居る繭價は過般來のインフレ景氣で一層の躍進を期待されて愈〻結果片倉を始め大小多數の各製糸家が早くも養蠶家抱き込みに猛運動を開始した事既報の如くであるが石灘販賣利用組合では例年通り出荷組合に對し利益金五千百圓の處分、最高借入限度決定、剩餘金預入先、幹事吉田彌十郎氏外四名の滿期退職改選等を協議した

して優良繭生産の指導督勵に努むる事に決し目下縣に補助申請中である

總代會　組合では今二十一日午後一時から平町マルトモホールで總代會を開催、財産目錄、貸借對照表、事業報告書承認、利益金五千百圓の處分、最高借入限度決定、剩餘金預入先、幹事吉田彌十郎氏外四名の滿期退職改選等を協議した

理髪屋の仲間揉め 署長の斡旋で手打

面目全く一新さる

小田部署長は年中紛糾を重ね下各部代表十二名、婦人部て居る管内理髪組合の圓同二名計十五名を召集協議滿なる調停を計るべく十七の結果組合長は組合員以外日組合幹部五十餘名を召集から選む事、常任幹事を置協議したが更に今二十一日いて内部の輯睦を圖らしむる事、外料金協定の嚴守婦午前十時から比佐組合長以

磐城人國記 三

赤井嶽男記

第五回生の巻 E

『後髪瀬谷氏も睡魔には慘敗』

當時瀬谷氏は田町の海老屋の二階を間借りして勇非の鶏沼信吉氏（現名孝昌）と机を向ひ合せ、夕飯が濟むと本を開くには開くが直ぐだ『あしたから遣つかんな』なんて寝て了ふ。學校でもウチでも彼氏は僅ひ稀なる睡がり坊であつた。

◇當時の海老屋二階　別室には鎌田角藏（白河）故人となつた蓬來商の敎授（東北帝大講師）上級生の快男兒伊澤保藏氏（被長排斥騷動のバイオニア、新山町の醫師）が牛肉を買つて海老屋を訪ねた。少くとも中學生には珍らしいオックスに有りついた瀬谷、鶏沼の兩君は鍋を借り牛肉に胸を悪くした稀代の落花生の殻で部屋中火事場のやうな混雑を見せたもんだ。

◇ニャン公の臍牛肉　其の頃の話である。一日の裏に夥しい猫の毛の着いつけ、絳れた處で學校の小屋の二階を間借りして勇非の鶏沼信吉氏（現名孝昌）と机を向ひ合せ、夕飯が濟むと本を開くには開くが直ぐだ『あしたから遣つかんな』なんて寝て了ふ。學校でもウチでも彼氏は僅ひ稀なる睡がり坊であつた。

◇當時の海老屋二階　別室には鎌田角藏（白河）故人となつた蓬來商の敎授（東北帝大講師）上級生の快男兒伊澤保藏氏（被長排斥騷動のバイオニア、新山町の醫師）が牛肉を買つて海老屋を訪ねた。少くとも中學生には珍らしいオックスに有りついた瀬谷、鶏沼の兩君は鍋を借り牛肉に胸を悪くした稀代の落花生の殻で部屋中火事場のやうな混雑を見せたもんだ。

◇ニャン公の臍牛肉　其の頃の話である。一日の裏に夥しい猫の毛の着いつけ、絳れた處で學校の小屋の二階を間借りして勇非の鶏沼信吉氏（現名孝昌）と机を向ひ合せ、夕飯が濟むと本を開くには開くが直ぐだ『あしたから遣つかんな』なんて寝て了ふ。學校でもウチでも彼氏は僅ひ稀なる睡がり坊であつた。

◇當時の海老屋二階　別室には鎌田角藏（白河）故人となつた蓬來商の敎授（東北帝大講師）上級生の快男兒伊澤保藏氏（被長排斥騷動のバイオニア、新山町の醫師）が牛肉を買つて海老屋を訪ねた。

老母が涙の諫めに 丹野せつ子服罪す

過去の迷夢より飜然改悟

第二次ト本共産黨事件に連座町字中島丹野セツ子（三二）は當時栃木刑務所から或は郷里に眞實の母が涙の諫めにより飜然改心をすゝ控訴を取下げ七年の懲役に服罪したので此程控訴取下げをなし、夜間極秘裡に自動車によつて栃木刑務所に收容今では過去の恐ろしかりし迷夢より覺め、よく獄則を守平署へ出頭し平驛附近飲食店から菓子其他を盗み食ひして居た事判明今二十一日嚴重說諭の上親許へ引渡した

意識朦朧の若者が 只乘りで長驅隣縣へ

取手署で保護中の通知入る

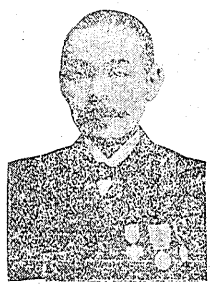
小田部秀雄、井上茂作、三森寅雄各氏に決定した

精勵格勤五十年 全國的の表彰を受く

鈴木前小名濱町長老後の面目

全國町村長會は各府縣町村長のうち勤續二十年以上のものを表彰する事になり本縣からも詮衡中のところ齋藤伊達郡白根村長、金子大沼郡中の川村長と共に郡下からは此程滿期退職した前小名濱町長鈴木榮氏が表彰さるる事となり來三十一日正式發表の筈である

氏は明治十九年小〻濱外十四ケ村戸長制が實施された際御用役となり、明治三十六年助役大正十二年町長に就任し來五期二十年町政のため働き殊に築港完成、商港修築運動平小名濱町のため大きな貢献を殘した、今年七十八歳の高齢者（寫眞は鈴木前町長）



債務調停大繁昌

實施以來既に八十件

平區裁判所取扱の金錢債務調停は好成績を擧げてゐるが臨時調停法は實施以來一年〻舊年末を控へ一層增加する迄の三ケ月間に七十餘件を樣樣で係りの關口判事はその解決今年になつてからも今の繁忙に驚いてゐる二十一日までに十件解決し

舊正の餅代を恵む

助成會から貧困者八十戸へ

平共濟事業助成會總會は昨十戸三百二十三名に對して二十日午後七時から町役場一戸當り一圓七十八錢合計に開催年末貧　者救濟に就百四十三圓十錢を贈る事と協議の結果明二十二日八なつた

廣大學生は大色魔

懲役一年半を求刑さる

當時住所不定無職北海道室川と別れるからと小幡から關市榮町生れ前科三犯谷山手切金を取つた外三十圓分義道（三七）が宮城刑務所に於の勘業債券を窃取荒川と夫て桑原庸夫と知合ひ同人の婦氣取りで潜伏中捕はれた妻東京市豐島區巢鴨町小幡窃盜事件の公判は今二十一しげ方を訪れ大學生を裝ひ日午前十時から平區に於て美貌を以て同人並同居人平關口判事係り上田檢事關與明鎌田生れ荒川まさ（三四）と關廷懲役一年半を求刑二十の間に三角關係をつくり五日言渡しの筈

道路規則違反が最多

取締

平署昨年中の卽決內譯

平署昨年中の卽決處分件數の九十六名を筆頭に料理屋は合計二百九十五名四百三十一名、自動車同二十七十三圓で內未納三十九名、自轉車同二十五名、酌逃走消滅十名あるが之を種婦、女給同十七名の順で一別すれば道路取締規則違反昨年と大差ない

盜み廻つて空腹を滿す

平驛で捕はれた內郷の手長少年二人

昨二十日午後九時頃平驛待右は內郷第二小學校四年生合室に暴勤不審な少年ある齋藤一郎（一二）同二年生金成を平署員が同行取調べると仙二（九）何れも假名—で數日前から自宅を飛出し平驛附近飲食店から菓子其他を盗み食ひして居た事判明今二十一日嚴重說諭の上親許へ引渡した

郡下女子卓球大會

平町マルトモホール運動具店主催卓球協會後援の第二回郡下女子卓球個人選手權大會は二月十二日午前一時からマルトモホールで開催するが前年の優勝者は古河炭鑛醫局勤務大橋靜子さんであつた

判決。双葉郡長塚村牧入

香港雜記

在日本人小學校

金澤澗氏（寄）（三）

▲勇敢だけれども馬鹿だ！

上海事件に於ける爆彈三勇士の行爲は世界に轟き渡つた。

香港に於ても勿論話題に上つた、或る日本人が英國人に向つて感激の裡に右勇士の物語をした。

默つてきいてゐた、その紳士答へて曰く

『ブレーヴ、バット、フーリ』である。割合によく出來て日本の幼年書報の樣な本を買つて來た。

『民國二十一年一月二十八日、日本海軍陸戰隊攻打我國上海的閘北、我國十九路軍極力抵抗！』

▲一九三三年　一九三二年！全く多事多難な歷史的の年であつただ火の頁をみると日本軍艦三隻大砲を向けて海上にあり、海軍飛行機三臺爆彈攻撃をなしつゝ上空を飛翔す越された。

ジュネーヴ湖畔、平和之助は二百圓の債務者南町第三美容院當野テルが平區の無錢飲食をなした上暴行に調停を申立たのを不都合だとて傷腦十二日テル方に怒鳴り込み器物毀棄で罰金三十圓を言渡されたのを不服として正式公判を申立てたが脅迫、名譽毀損の追訴も豫想される外百餘圓の私

阪人用

モノサシ　マス　ハカリ

重衡

体温器　寒暖計

◎秤ノ取扱ひ、絲の修理致します

開業

內科小兒科

外科花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

醫學士　高久恵治
新潟醫學士　赤須清
齒科醫士　竹内

高久病院

平町田町（電話五一三番）

磐城共濟會病院案內

磐城國平町（公園下）

院長　醫學博士　石山謙郎

（自宅）電話一二四番

內科　醫學博士　石山謙郎
小兒科　醫局員　佐久間粹
外科　醫局員　桂重久
喉科　醫學博士　有馬勇二郎
皮黴科　醫學士　五十嵐雄二
產婦人科　醫局員　佐久間粹
X光線科　醫學博士　石山謙郎
技師　工藤慶造
衛生試驗所　醫學博士　石山謙郎
技師　高後利雄
藥局　藥劑士　吉本孝平

△診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず

平町　磐城共濟會

電話六四一番

內外建築材具材

入阿部材木店

磐城國平町

電話四九四番